

令和4年度 県土整備部長表彰優良工事施工者に選ばれました

第R2道災13・14
公共 道路災害復旧(債務)(一重ヶ根1・2)

受賞理由 施工条件の克服

着工前



完成



工事概要

第13号 復旧延長 L=44.0m W=5.5(6.0)m
軽量盛土擁壁工 L=44.0m V=236m³
小口止工N=2箇所 すりつけ工(練石積工)N=2箇所
舗装復旧工 A=134m² 区画線工 L=66m 仮設防護柵工 L=63m
第14号 復旧延長 L=11.1m W=5.5(6.0)m
路側工 練ブロック積工 L=10.5m(SL=4.4~5.5m A=50m²)
小口止工 N=2箇所 すりつけ工(練石積工)N=2箇所
ガードレール Gr-C-2B L=13.0m ガードレール基礎 L=13.0m
舗装工 A=17m² 区画線(外側線) L=15.5m

工期 令和2年9月18日~令和3年12月16日

施工箇所 一般国道471号 高山市奥飛騨温泉郷一重ヶ根1・2地内

現場代理人 平田史彦 主任技術者 和泉義孝

通行止案内の配慮及び迅速な現道開放

当該路線は、地域唯一の幹線道路であるにもかかわらず、7月の被災で路線が崩壊したことから全面通行止となり、狭い生活道路を迂回せざるを得なかった。観光者の多い地域であったため、明確な迂回路標識を設置し全面通行止期間中の円滑な道路事情への配慮を実施した。また地域住民からは雪が降る前に全面通行止を解除することを強く求められていたため、片側1車線の復旧を優先し11月中旬には解除することが出来た。



地盤変動の安全確認

道路交通の安全確保のため、応急対策により片側1車線を確保している路側の安全性を確認・監視しながら施工する必要があり、トータルステーションによる定期計測を行い、地盤変動を監視しながら施工を行った。



現道の道路維持管理

片側交互通行の安全走行確保のため、視認性の高いバルーンライトや電光掲示板やチューブライトを設置するとともに、道路の張り出した草の除草、落ち葉の清掃、穴ぼこの補修、ゲリラ豪雨対応など現道の維持管理を徹底した。



狭小スペースでの作業効率の改善

工事期間中は現道(片側1車線)を確保して共有しつつ、狭小な作業スペースで工事を実施する必要が生じた。厳しい条件のなか効率的に作業を進められるよう施工方法の見直しに取り組み、新型機械(テレスコピック式クローラークレーン)を使用することで、通常機械による施工方法に比べ、仮設架台を縮小させるとともに作業の大幅な効率化を図ることで、約1ヶ月間工程を短縮することができた。



荷重確認ヨシ!



軽量盛土工法の現場見学会

当該地域においては現場発泡ウレタン軽量盛土工法の施工事例が無く、今後同様の事例が発生した場合円滑に対応できるよう、現場技術者の技術力向上のため建設業関係者を対象にした現場見学会を実施した。



ゲリラ豪雨対応

